W395
N13

保夜考

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

書 13.7.24 国会図
01W50714

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

保夜といへるもの一考

萬葉集の歌に足曳の山の木の葉の保
興ふかくりて加さしくらへ和とをほしと
そ又新撰生鏡に蔦（都史反寄生 和名保奥）とみえて古
い保与とも以ひしとみえ又順和名抄に寄
生一名寓生（和名夜上里木 一名保夜）とありさしきは保夜
いもかく寄生（ヤトリキ）の数をいふ名なるを貝にまれ
虫にまれ色のにより物にもうつし名
つけて保夜といふ也見へ多り貝にほや貝なり
此事に保和のりなり土佐日記延喜式等に保
夜といへるは多底に沈み なる木石の堂に
ことりて花ひ出けるこゝあほしのかたちし

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

なるゆゑとあるしとも說の如く交ハまた鮨
を交へ之を漬まぜ〳〵するといへりいぶかしハ貽
貝鮨にて保夜を交へ漬けある貽貝鮨なるへし
といへり宣長か玉勝間に云肥前国佐伯の海にて
和布をとる事何のりや紫菜塩之海鼠なとめかくは
海形志賀ちは其上佐伯の人のたれめり然ハ
土佐の池にはやかい浅しとあるはされを鮨
鮨にしたるなるをとは是人のいふとりくるは鮨
崇山ハ延喜式若狭国乃貢物に保夜交鮨と
ありてまを載せたりまし以て保夜とよみまても交
「法布之条也」保夜ハ奥州仙台の名物也
海中之産にて其肉塊りたることき物破

まことあるよしそれもし内之間にあり宵を食用とす
京之邦にハ播達なきなし其ものの時ハ謨をきて出ほしき
を賞すること鑑等にも樽漬とし勢上とする奥州
まてハまだ其の肉と解等にて冬まてしといへり
今案するにたるものハ此草山翁の說と合へくる木
おしものて其劉翁ハ書のよりのとくのえてそれは宮
長翁ハ書およひ保夜の說ならぬハ草山
翁ハ書夜及淹熟のまをとりそのまゝとれく堂
た生物とはよはる形をとるものとはまたし
本朝食鑑に云老海鼠保夜ハ状如海鼠之老實
而一頭の肉片色は紫赤にて纏はするに鬱鮑魚之
類一身上下粘滑腹中肉味頗る海鼠之而稍劣る或

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

保夜乃図

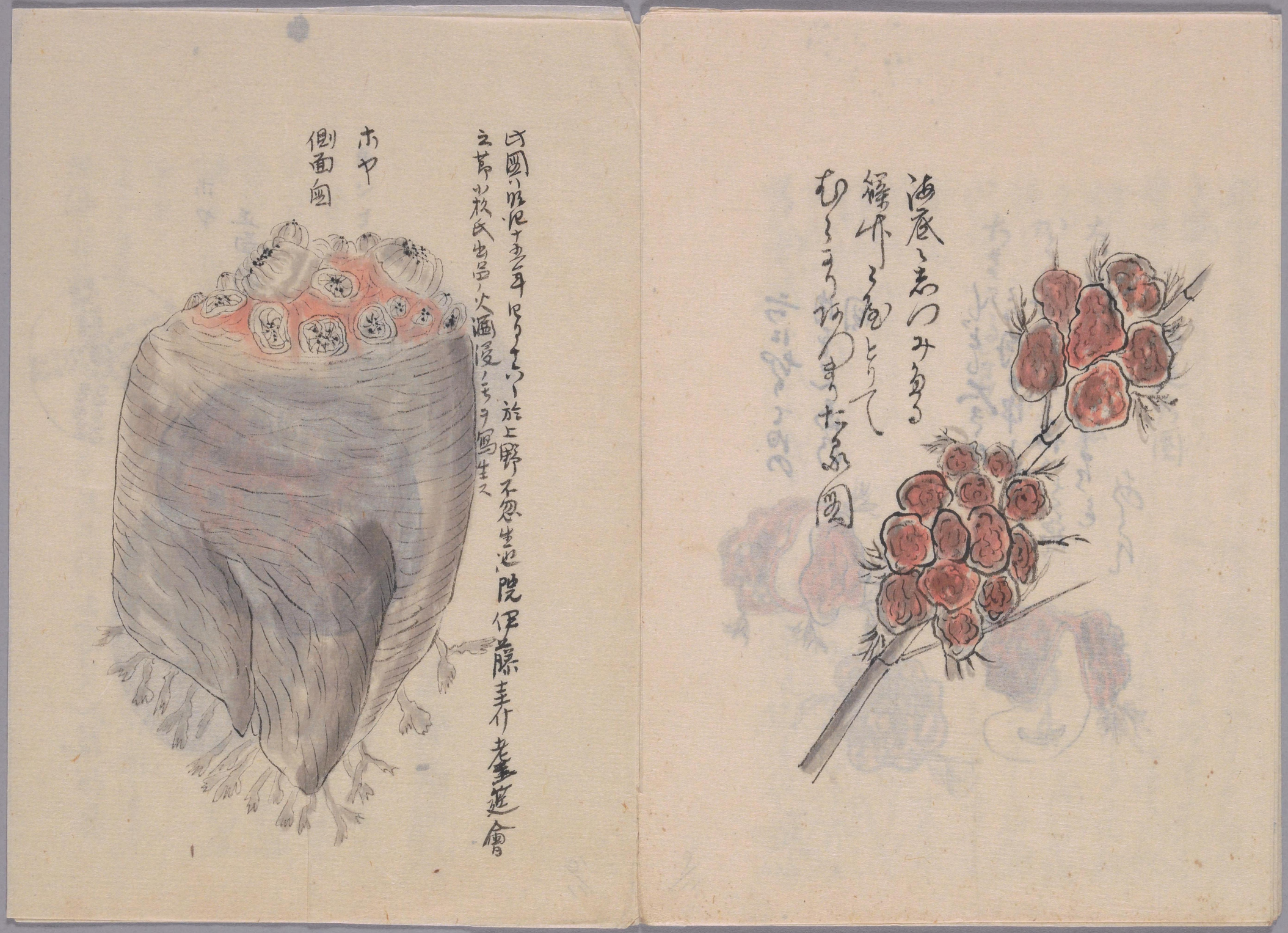
大いなれとも大抵
かくのさいとくなるに
大きくなる也

二つに切りて内の
肉をもしめ取り
図

もっとも大きくなるまの
こゝ肉の中に小貝をも
含みあるなり大抵
毎年無くなるなり也
あらん

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

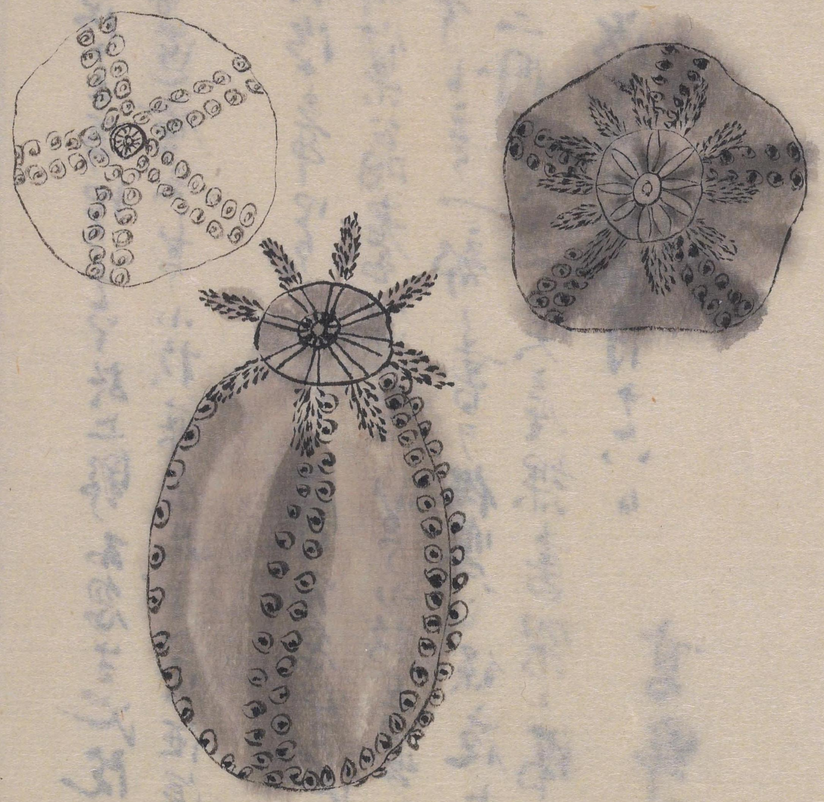
ガラス使用



国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

キンコ



ホヤ
正面圖

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

此圖ハ明治十五年四月十六日於上野不忍生池院伊藤
圭介老丈遊會之節小枝某出品シタル火洒後ノモヲ
寫生ス
此圖ハ明治十五年四月十六日於上野不忍生池院伊藤
圭介錦窠翁老丈遊會ノ節小枝某出品保狀
甘菴寺ト云フ一部ノ書ヲ借寫シ保夜ト日菴ト
ヲ分チテ二冊トナシ之ヲ天産課書架ニ備フト云フ
明治十五年五月十六日
高野則明識

国立国会図書館

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用

国立国会図書館　保夜考 W395-N13

ガラス使用